

人間の期待と主なる神の確かさ

詩編 91 を読んで、新約聖書に引用されている句を思い起こす。「主はあなたのために、御使いに命じて/あなたの道のどこにおいても守らせてくださる。彼らはあなたをその手にのせて運び/足が石にあたらないように守る。」(11 節、マタイ 4:6)。この美しく優しい言葉は真実で、力強いが、同時にこの言葉によって「誘惑する者」がイエスを誘惑したことを忘れてはならない。人は人が期待するような時と形で守られるわけではない。最近身の回りで自死や自死未遂、暴力(刺殺)事件、銃乱射事件が相次いでいる。人はしばしば「一線」を超え、超えられる危険があり、それでもまた、豊かに、護られてもいるのである。ボンヘファーは絞首刑直前の牢獄においても彼を取り囲む「天使たち」を見ていた。「善き力にわれ囲まれ」(新生讃美歌 73)。主なる神に信頼する者は幸いである。主なる神は信仰者を必ず守って下さるが、私たちが考える形で護って下さるのではない。神を試みる形で期待しないようにしよう。

1. 信頼を寄せるお方 (1~2 節)

1~2 節の語彙はこれまで詩編に何度も登場し、その都度説明してきた。荒れ野では、身を寄せて隠れる場所、砦が重要である。人は一人で、裸で剥きだして生きるのではかく、神が隠し、取り囲み、護って下さる。もし、この歌がエルサレム神殿で歌われたとすれば、隠れ家、砦とはエルサレム神殿を意味し、「宿る」とは巡礼者がエルサレムに宿をとることを指しているのかも知れない。

ここで神は、「いと高き神」、「全能の神」「主」(Yahweh)と 3 つの仕方で呼称されている。私たちにとってどのような呼称が心にしっくりくるであろう? 現在ではジェンダーの問題などもある。松見君は祈りの呼び掛けは「いつも恵み深い神」だね!と言われたことがあった。何はともあれ、「呼びかける相手(他者)」が存在することは素晴らしいことである。このような「いと高き神」「全能の神」、人から隔絶される神は「秘密の場所に住んでおられる」が、同時に「Yahweh」として、エジプトからの解放者、救済者として近くにおられて信仰者を覆い、隠して守ってくださる。主語である「わたしは言う」は 2 節になって登場する。詩人はこのお方を「わたしの神」として、また、「わたしの避難所」、「わたしの砦」であり、彼に信頼し、彼は、この方に依り頼むと告白する。1 節はこのような信仰者自身の状態、神との関係に生きる自分であることを表現している。

あるいは 1 節は証言者の声、2 節は詩人自身の声とも理解可能である。

2. 救済の諸イメージ (3節～13節)

視点が「わたし」から「わたしを見ている他者」に移り、信仰者と神との関係を「救われる者」と「救うお方」との関係で見、証している。「神はあなたを救い出してください」。救いのイメージは多様で、1) 仕掛けられた罠から、落とし穴のように、人を陥れる言葉からの救い(3節)、2) 夜、脅かすものからの救い(5節)、3) 昼、飛んでくる矢からの救い(5節)、4) 暗黒の中で蠢く「疫病」からの救い(6節)、5) 真昼に襲う「病魔」からの救い(6節)、これらの節における「夜と昼」の対比のレトリックが印象的である！6) 傍らの援軍の千人、万人が倒され、孤立することから（あるいは神に逆らう者たちなのか？）の中での救い、7) 降りかかる災難からの救い（10節）、8) 獅子（獅子の子）と毒蛇（大蛇）から（13節）救ってくださる。10節にまた「疫病」が登場するので、この詩は「疫病」からの救いを求める歌かも知れない。（世では、コロナウイルス感染の危機から、神話的な「アマビエ」なるものが流行した！）

どのように護って下さるか？ 1) 鳥のように、翼の中に匿ってくださる（4節）参照：申命 32:11、マタイ 23:37、詩編 17:8 あるいは、神殿の至聖所の箱を覆うテラピムのイメージ 2) 大盾、小盾として、（取り囲み）護って下さる。信仰者にとって大盾、小盾は「神の信実」（アーメン）である。（3）御使いを通して（11節）、その手に乗せて護って下さる。

それゆえ、信仰者は「恐れない」（5節）

3. 神の約束の言葉 (14～16節)

今度は、語り手が、私あるいは、「第三者の証言」から神ご自身の約束の言葉に移る。神が「わたし」として「彼に」語る。「彼（信仰者）はわたし（神）を慕う者だから、彼を災いから逃れさせよう。」災いが存在しないのではなく、そこから逃れる道を備えてくださる。さらに、「わたしの名を知る者だから、彼を高く上げよう」と約束してくださる。神はご自身の「名」を知らせる冒険をあえてされて人に関わってくださる。

最後の言葉の語彙もイメージも豊かである。「彼がわたしを呼び求めるとき、彼に答え/苦難の襲うとき、彼と共にいて助け/彼に名誉を与えよう。生涯、彼を満ちたらせ/わたしの救いを彼に見せよう。」素晴らしい約束である。